

三浦市立初声中学校

研究テーマ：主体的に学ぶ子 ～主体的な学びへつながる授業づくりを目指して～

1 実践の目的

昨年度に続き、道徳教育推進校（よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業）になったことを受け、次の2点に重点を置き研究を進めた。

（1）道徳教育の推進

生徒が「主体的に考え、議論する」道徳を目指し研究を進めた。

昨年度から授業の「手法」に着目し、より生徒が議論をし、考えを深められるような授業を目指した。

（2）研究組織の編成

道徳だけでなく各教科や行事などでも生徒の主体性を伸ばす取り組みを続けるため、3つの研究部に分け研究を進めた。

2 実践の内容

（1）道徳教育の推進

①ローテーション授業の実施

道徳担当や担任だけでなく、全教員が授業に携わり、指導案検討から互いに見合うことで、より効果的な「手法」について検討できるようにした。一定期間、各学年の中でグループを組み、学年やグループ単位で指導案検討や授業の実践を行った。

②手法に着目した研究授業の実施

ローテーション授業と研究授業を通して、生徒がより主体的に考え議論するための手法を研究した。また、2年間の道徳研究の成果として公開授業を実施することにした。その際、同学年異クラスで研究授業を事前に実施し、その反省をもとに公開授業を実

施した。

（2）研究組織の編成

研究部を次の3つに編成した。

① 道徳部

重点目標である道徳推進の研究を進める。

② 学習指導部

各教科の授業力向上、指導と評価の一体化に向けて研究を進める。

③ 特別活動部

生徒会や行事などで生徒が主体的に行動できるような活動を研究していく。

今年度も昨年度に引き続き、①③で協力し、生徒会主体の「ピンクシャツ運動」と「ボッチャ大会」を実施した。

3 実践の成果と課題

（1）道徳教育の推進

①ローテーション授業の実施

道徳担当や担任だけでなく、全教員が道徳について検討する機会を作ることができた。普段の道徳の授業でも、準備の際に教員間で情報交換をするなど教員間のコミュニケーションが増えた。

②手法に着目した研究授業の実施

今年度は全クラスでの公開授業に向けて、指導案検討用のグループを作り、より「考え議論する道徳」を目指し、内容ごとに検討した。公開授業後の反省の中で、次の成果が上がった。

- ・個人で考える時間、班活動で考える時間を確保することで、自分の考えを少人数に伝えた後、全体に伝える活動をするこ

ができた。

- ・指導に困り感のある「畏敬の念」についての概念や取り組み方を深めることができた。
- ・グループでの指導案検討により、教材について様々な視点を持つことができ、指導の幅が広がった。

(2) 研究組織再編

道徳部と特別活動部の連携により、生徒主体の活動を実施することができた。

①ピンクシャツ運動

生徒会主催でピンクシャツ運動を開始。生徒会のメンバーが各教室で趣旨を説明し、クラスごとにデザインを考え、投票によってデザインが決定した。決定したデザインはビッグピンクTシャツとして校内に飾っている。また、小さなストラップを作成し、カバンにつけたり、小学校にも配布したりと活動を広めている。



図1 ビッグピンクTシャツ



図2 ピンクTシャツストラップ

②ボッチャ大会

「共存」をテーマに生徒会のメンバーが各クラスで授業を実施した。その後、ボッチャ

大会に向けて、ボールづくりから始め、練習を行い、全校でのボッチャ大会を実施した。



図3 生徒会による授業



図4 ボッチャ大会

①②の活動を通して、クラスでの話し合いや学年間の交流の機会を作ることができた。生徒会や3年生がリーダーシップを発揮し、積極的に行動する姿が見られ、生徒の「主体性」を育む活動となった。

4 今後の展開

(1) 道徳教育の推進

ローテーション授業は道徳教育推進校（よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業）としての取り組みで始めたが、教員の研鑽のためにも今後も導入していきたい。

(2) 研究組織の編成

生徒会主催となり、小学校との交流ができた。次年度は授業や特別活動でも小中連携を意識した研究を進めていきたい。